

こくりにゆうだよ



大阪府立池田高等学校 2年 和田 遼馬
「節分をテーマに描きました」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



とよなかシネコン

「ゲットアウト」

2月7日(日) 14:00~15:45

白人のガールフレンドの実家を訪れたアフリカ系アメリカ人の青年を中心に、黒人と白人の対立と共存を描いたサプライズスリラー。

定員: 50人(申込先着順、要申込)

参加費: 無料

場所: すてっぷホール(エトレ豊中5階)

※受付は6F国際交流センター

申込: 電話・来館・メールにて受付。



© 2018 Universal Studios. All Rights Reserved.

哲学カフェ~オンライン編~

「会ってどんなこと?」

2月13日(土) 10:30~12:15

「会ってどんなこと?」をテーマに話し合う。

対象: ウェブ会議システム(Zoom)でのやり取りが可能な人

定員: 10人(申込先着順、要申込)

参加費: 無料

申込: 2月9日(火)までにメールにて受付。

その他のイベントは見開きページにあるよ! →

12/13(日)

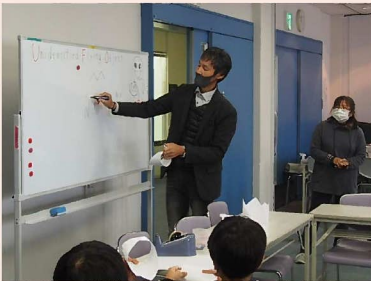
多文化フェスティバルを開催しました！

12月13日（日）に第16回多文化フェスティバルを開催しました。多文化フェスティバルは、外国にルーツをもつ子どもたちが出会い、つながり、主役になる場づくりを目的として毎年開催しているイベントです。今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、例年のような一般参加歓迎の開かれたイベントとして開催するのではなく、とよなか国際交流センターや豊中市教育委員会による外国にルーツをもつ子ども・若者支援に関わる5団体に参加対象を限って開催することになりました。



作った名刺で自己紹介ワークショップ

今回の多文化フェスティバルでは、事前に各団体に活動紹介の動画の作成をしてもらい、それらを集めて1本の映像作品を作り、イベント当日に上映をしました。さらに、当日は感染対策を徹底しながら参加した子どもたちで自分の名刺を手作りして自己紹介ワークショップを行い、その後、工作や中国・韓国などの遊びの体験ブースにうつり、各々で自由に遊びました。例年と比べると参加人数も少なく小規模ではありながらも、とても濃密で楽しいひと時となりました。



韓国で流行している紙飛行機作り



協会マスコットのコモとスース作り

開催にあたって不安や心配はありましたが、コロナ禍で人と出会い・つながることが困難な今だからこそ、こうして子どもたちが出会い、つながり、またその子どもたちを応援する大人に囲まれて過ごすことの意義の大きさを感じました。来年も引き続き子どもたちの出会い・つながりを大切にしながら多文化フェスティバルを開催したいと思っています。

(協会職員・山根絵美)

12/26(日) おまつり地球一周クラブ～チョア チョア コリア

「おまつり地球一周クラブ」は近隣地域に住む外国人を講師に迎え、交流しながら様々な国や地域について学ぶ、小中学生のための国際理解プログラムです。今年度1回目の「おまつり地球一周クラブ」は韓国編「チョア チョア コリア」を12月26日に開催しました。

講師のパクカヨンさんは豊中市内の小学校で韓国文化を紹介するプログラムにも参加しているのですが、偶然にも参加者の一人がパクさんの授業を受けたことがあり、久しぶりの再会を喜ぶ一幕もありました。

プログラムでは、韓国について、さらに韓国のクリスマスやお正月の過ごし方なども写真や動画をみながら知ることができました。また、韓国語吹替の「鬼滅の刃」を観ながらそこで出てくる挨拶のフレーズを復唱したり、自分の名前をハングルで書いたり、韓国語も少し練習をしました。

その後、韓国の代表的な正月遊びのチェギ（羽蹴り）を、スーパーのビニール袋やペットボトルの蓋で作ри、これを使って皆でタンタモッキ（陣取りゲーム）をしました。片足で飛びながら陣地内を進む、そんな遊びもすぐにマスターする子どもたちには感心しきりでした。

コロナ対策を万全にしながら やっと開催できた今回のプログラムは、出会い交流することの大切さを改めて感じる機会となりました。(協会職員・大庭みゆき)



チェギ(羽蹴り)作りのようす



いつもより年齢の高い子どもたちが集まってくれました



「ヤングケアラー」の問題が社会的に認知されるようになってきました。ヤングケアラーとは、家族の介護や世話をしている18才未満の子どもを指します。

この用語を初めて目にしたとき、私は、今までずっと訴えたかった、共有して対応してもらいたかった、外国ルーツの子どもたちが抱える問題の一つが明確になり、ホッとしました。

私はこの問題に、何度も直面してきました。しかし、いつも理解してもらえませんでした。それは私が、問題を明確に訴える言葉を絞り出すことができなかつたためであり、言葉を得られなかつたためでもあったのだと、今、思います。

例えば、Aさん家族のことが思い出されます。外国人のAさんは二人の子どもがいるシングルマザーでした。日本人の元夫からの金銭的援助は一切得られず、日本語が十分ではないながらも一生懸命働いていました。しかしケガをしたことがきっかけで収入が激減し、生活が一気に困窮しました。相談に来たAさんは、生活保護を受けたいと思いました。そのためには、市役所に相談に行き、申請手続きをしなければなりません。しかしAさんは、日本語能力の問題から、強い不安を訴えました。それは当然の不安です。

そこで私は、Aさんの生活状況等を聞き取った資料を作成し、Aさんが住む市役所へ電話を入れました。資料を持参するので、それで対応してもらえないだろうか、何か聞き取りが必要なことがあれば、その場でこちらに電話を入れてくれば、通訳スタッフが対応できる、ということをお願いしました。しかし担当課は受け入れませんでした。その市役所では通訳を用意できないので、通訳を連れてくるようにと言いました。「中学生の子どもが日本語ができるなら、その子に来てもらってください」と。私は強く反対しました。子どもは学校に行っていること、日本語ができるからといって、子どもにこれを負わせられないということを訴えました。しかし、担当課は全く受け入れませんでした。

こういう相談ケースは山ほどあります。日本語の上達が早い子どもたちは、様々な場面で、大変な親を手伝い、支えています。自治体だけではなく、学校の教員も、当たり前のように、子どもに通訳させている場面は何度もありました。不動産、病院、銀行など、あらゆるところが、当然のように、子どもを通訳として使っていました。

子どもたちが負う「ケア」は、もちろん、通訳だけではありません。しかし、「通訳者として使う」という点は、日本の社会の側が、通訳させられる子どもの、その負担に対して全く無自覚であり、子どもたちを搾取してきたのです。

この問題は、通訳業務に対する認識の問題が重なります。通訳職でない一般の人にとって、通訳は精神労働になることもあります。だからこそ、通訳は専門技能なのだと思います。そのことへの、社会的認識と価値の低さが、この問題の背後にあるように思います。

ともかく、「ヤングケアラー」という用語により、相談でも、子どもたちに対する搾取を防げるよう、訴えやすくなるのではないかと思います。言葉で概念化されることの意義を感じました。



2月のイベント情報 ※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



外国人のための

1日離婚電話相談ホットライン

2月13日(土) 10:30~16:30

当協会が代表事務所を務める「協議離婚問題研究会(リコン・アラート)」が、大阪弁護士会に協力して実施しているもので、電話相談会は今年で4回目となります。

夫婦関係のあらゆる問題に弁護士などの専門家と通訳者が12言語で対応します。

電話番号: 06-6364-9950

(この日のみ使えます)

参加費: 無料

対象: 外国人



昨年度の開催のようす

外国人のための

防災セミナー

2月26日(金) 13:30~15:30

日本の災害や災害時の心構え・準備について学ぶ。

英語・中国語・韓国語・フィリピン語・タイ語・ベトナム語・ネパール語・スペイン語・インドネシア語の通訳あり。

定員: 20人(申込先着順)

参加費: 無料

対象: 外国人

申込: 電話・来館・メールにて受付。

2021 2月 の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 もっど 相談	02 おやこ 相談 こんぱす	03 休館日	04 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	05 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	06 相談 南部	07 貸室利用抽選会 目的利用：～5月末まで 一般利用：～4月末まで とよなかシネコン 14:00～15:45
08 もっど 相談	09 おやこ 相談 こんぱす	10 休館日	11 建国記念の日	12 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	13 相談 南部 哲学カフェ 10:30～12:15 離婚電話相談会 10:30～16:30	14 がちゃ 母語 サンプル 若者
15 もっど 相談	16 おやこ 相談 こんぱす	17 休館日	18 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	19 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	20 つどい 相談 南部 安聖民パンソリライブ 14:00～15:45	21 がちゃ サンプル 若者
22 もっど 相談	23 天皇誕生日	24 休館日	25 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	26 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 外国人のための防災セミナー 13:30～15:30	27 相談 南部	28 がちゃ 母語 サンプル 若者

※場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。

※赤字表記のセンターで開催しているにほんご交流活動およびおやこでにほんごについては、現在新型コロナウイルスの影響により活動内容を大幅に変更しています。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日	もっどもっどつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンラインにほんご	13:30～15:20 13:30～15:30 10:00～11:30 11:00～16:00 19:00～20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30～12:00 10:30～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
土曜日	韓国・朝鮮のこぼとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 南部にほんご(庄内公民館で実施)	9:30～11:30 13:00～16:00 13:00～15:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2A日曜日のみ 学習支援サンプルイス 若者のたまりば	10:00～12:00 10:00～12:00 13:00～15:00 17:00～20:00

今月のピックアップ

パンソリを楽しもう～安聖民パンソリライブ～ 2021年2月20日(土)14:00～15:45

パンソリは、唱者(歌手)が鼓手(太鼓の演者)の拍子に合わせて、節や身振りを織り交ぜながら物語を演じる口承伝統芸能です。人生の喜怒哀楽をユーモアを交えつつ表現し、その場にいる聴衆も積極的に参加することで生まれる一体感も魅力の一つです。今回のライブでは伝統的な演目だけでなく、子ども向けの手遊び等、パンソリに親しむ演目もあります。ぜひご家族連れでお越しください。

場所：エトレ豊中5階 すてっぷホール
出演者：安聖民さん(パンソリ唱者)、趙倫子さん(鼓手)
定員：60名(申込先着順、要申込) 参加費：無料
申込：電話・来館・メールにて受付。

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第142号(2021年2月号)

発行元・問い合わせ：(公財)とよなか国際交流協会
住所：〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間：9:00～21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)
TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail: atom.s@ azaq.jp WEB: http://www.a-atom.s.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

